

浅間山の火山活動（2008年6月～2008年10月）*

Volcanic Activity of Asamayama Volcano From June 2008 to October 2008

気象庁地震火山部火山課
Volcanological Division, JMA

1. 噴火及び噴煙活動（第1図-①②、第3図-①②、第4図、第5図、第1表）

8月10、11日及び14日にごく小規模な噴火が発生した。噴火に伴う有色噴煙が最高で火口縁上400mまで上がったのを観測したが、いずれの噴火でも、噴火に伴う空振、山麓及び山腹の道路や居住地域での降灰は観測されていない。第1表にごく小規模な噴火のリストを示す。

2. 火山ガス（第1図-③）

二酸化硫黄の放出量は、ごく小規模な噴火が発生した8月10日以降、一日あたり1,100～2,900トンと多い状態で推移している。

3. 熱活動（第1図-④、第5図、第6図）

8月9日から黒斑山の高感度カメラ（長野県設置）で、8月10日から浅間山西の高感度カメラ（利根川水系砂防事務所設置）で、時々微弱な火映が観測されている。

ごく小規模な噴火発生直後の8月10日に実施した上空からの観測（群馬県の協力による）及び10月2日に実施した上空からの観測（国土交通省利根川水系砂防事務所の協力による）では、噴火前と比べ、山頂火口底の高温域の分布に特段大きな変化は見られなかった。

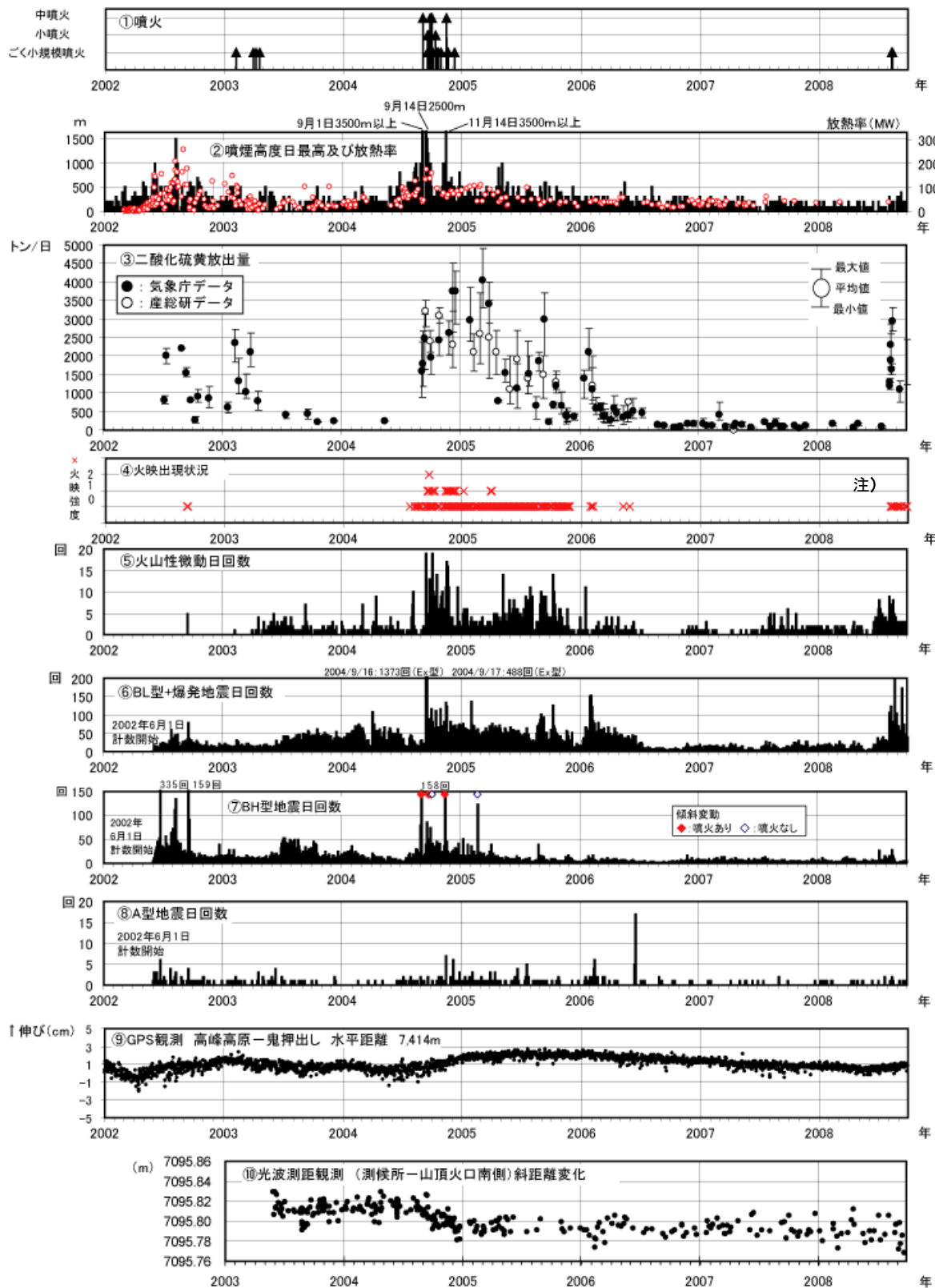
4. 地震活動（第1図-⑤⑥⑦⑧、第2図、第3図-③④、第7図）

火山性地震及び火山性微動はやや多い状態で推移している。なお、震源の山体浅部への移動の変化はみられない。また、A型地震にも目立った増加は見られない。

5. 地殻変動（第1図-⑨⑩、第8図）

山体周辺のGPS連続観測では、高峰高原－鬼押し出しの基線で、7月初め頃からわずかに伸びの傾向がみられる。なお、傾斜観測では、火口直下浅部へのマグマ上昇を示す変化はみられていない。また、光波測距観測にも特段の変化は認められない。

※この記号の資料は気象庁のほか、国土交通省利根川水系砂防事務所、東京大学、独立行政法人産業技術総合研究所のデータを利用して作成。



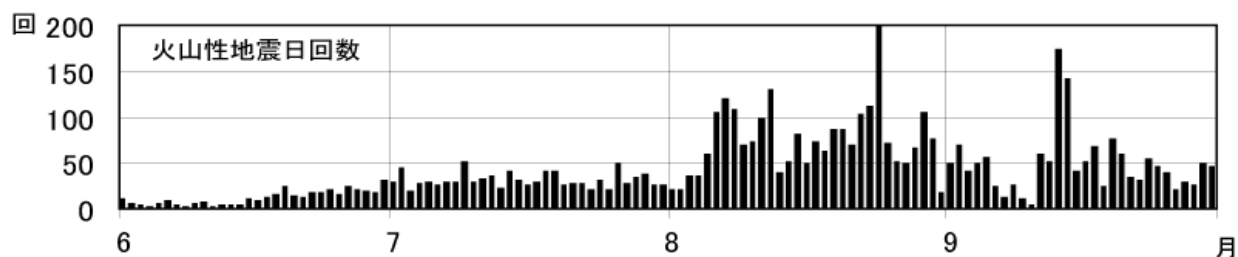
第1図※ 浅間山 最近の火山活動の推移 (2002年1月1日~2008年9月30日)
 ③の二酸化硫黄放出量グラフは産業技術総合研究所のデータも含む
 測定は浅間山火山防災連絡事務所, 補正処理は気象研究所 (2008) による
 注) 2008年7月より黒斑山の高感度カメラを監視に用いており、火映の検知能力が向上している。

Fig.1 Volcanic activities of Asamayama From January 2002 to September 2008.

第1表 浅間山 最近の主なごく小規模な噴火

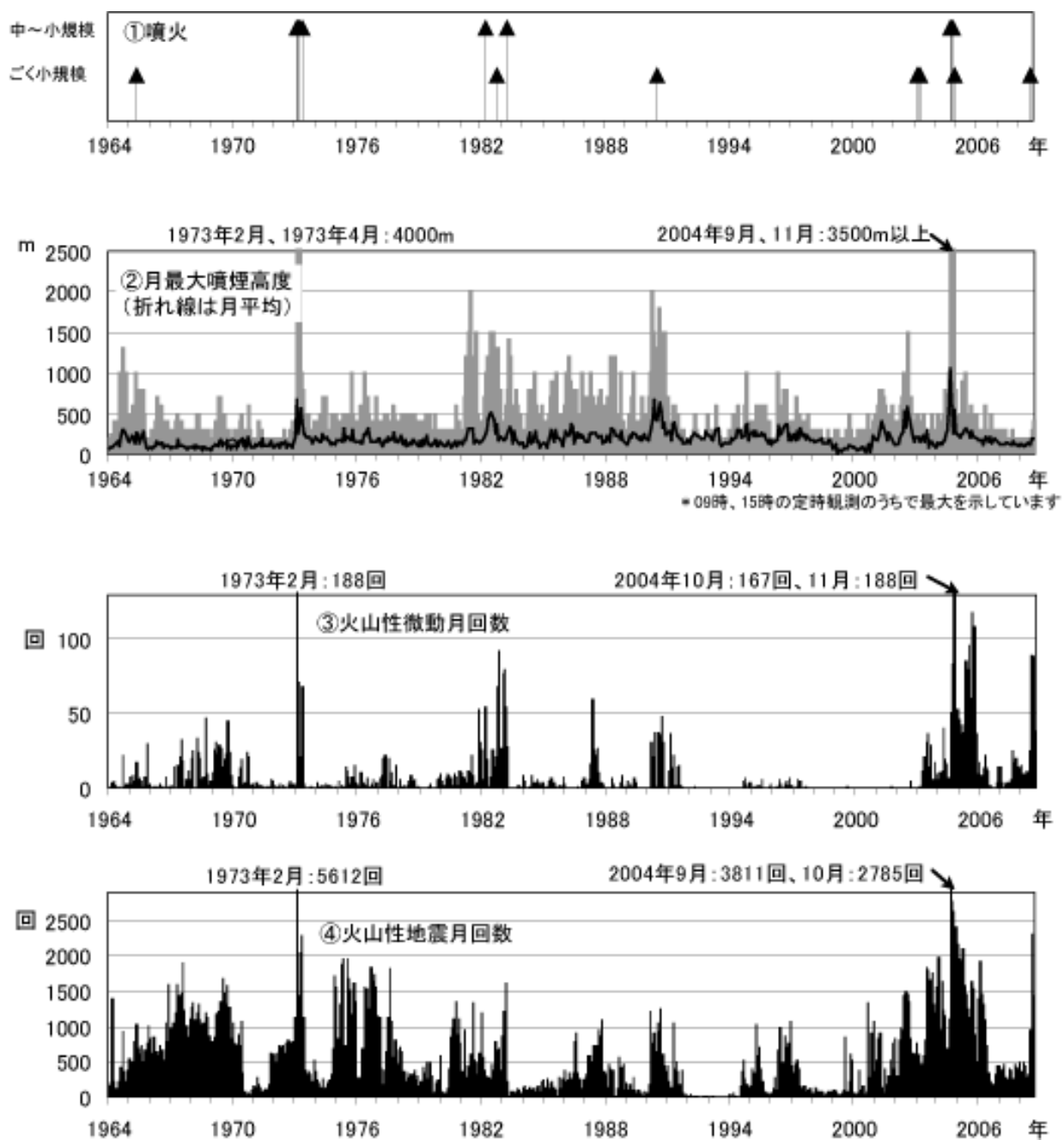
Table1 List of recent very small eruptions of Asamayama .

年月日	時分	噴煙高度	空振振幅	降灰の状況	微動振幅 B点 (NS) μ
1990年 7月20日	朝 (時刻不明)	雲で不明	—	東4~8 kmに降灰	1.00
2003年 2月 6日	12時00分頃	300m	なし	山頂付近に少量降灰 (上空観測)	0.23
2003年 3月30日	1時54分頃	200m	なし	山頂付近に少量降灰 (上空観測)	0.46
2003年 4月 7日	9時24分頃	200m	なし	観測されず	なし
2003年 4月18日	7時32分頃	300m	なし	観測されず	0.73
2004年10月19日	14時46分頃	300m	0.13Pa (A点)	軽井沢測候所、御代田町役場で降灰 測候所0.6 g/m ²	2.73
2004年10月28日	4時24分頃	400m	なし	軽井沢町で微量の降灰	0.85
2008年 8月10日	2時37分頃	400m	なし	山頂付近に少量降灰	0.56
2008年 8月11日	20時5分頃	200m	なし	不明	0.71
2008年 8月14日	7時59分頃	400m	なし	不明	0.36



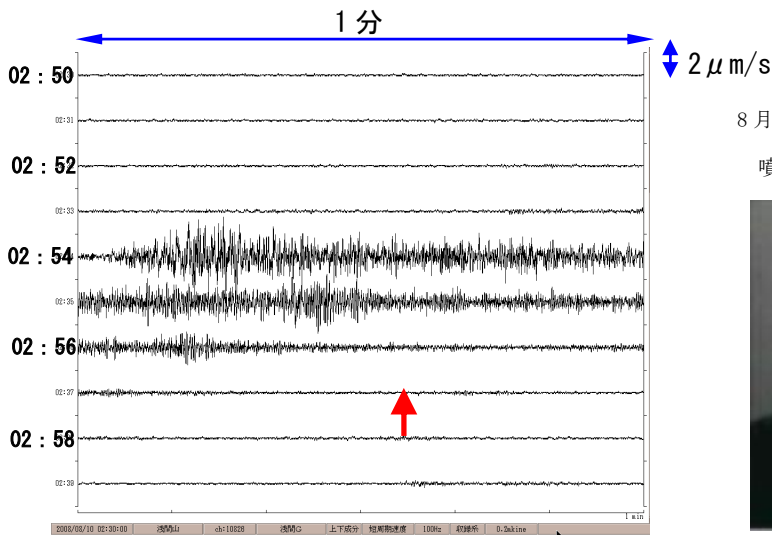
第2図 浅間山 火山性地震の日別回数 (2008年6月1日~2008年9月30日)

Fig.2 Daily number of volcanic earthquakes in Asamayama from June 2008 to September

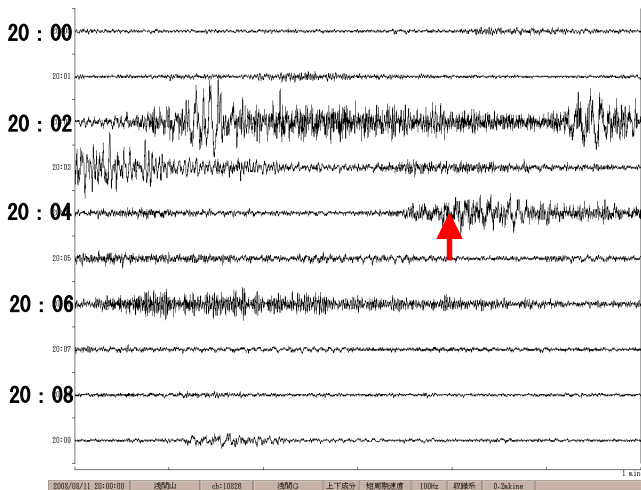


第3図 浅間山 長期の火山活動経過図 (1964年1月～2008年9月)

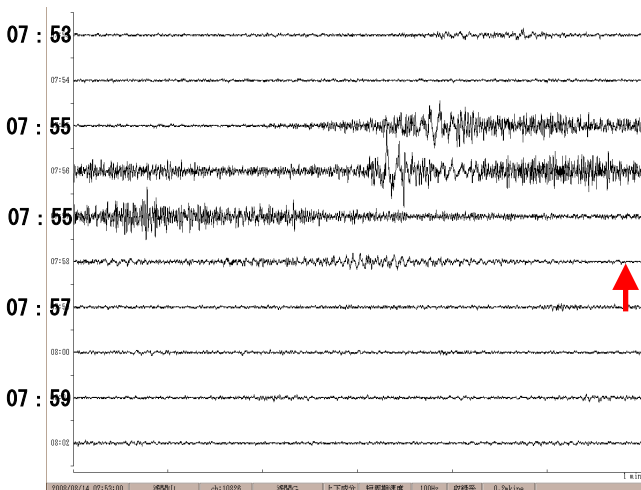
Fig.3 Volcanic activities of Asamayama from January 1964 to September 2008.



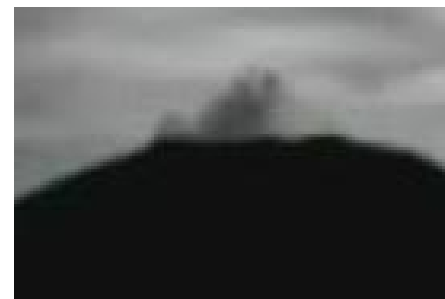
8月10日02時37分頃のごく小規模な噴火
噴煙高度：火口縁上400m



8月11日20時05分頃のごく小規模な噴火
噴煙高度：火口縁上200m



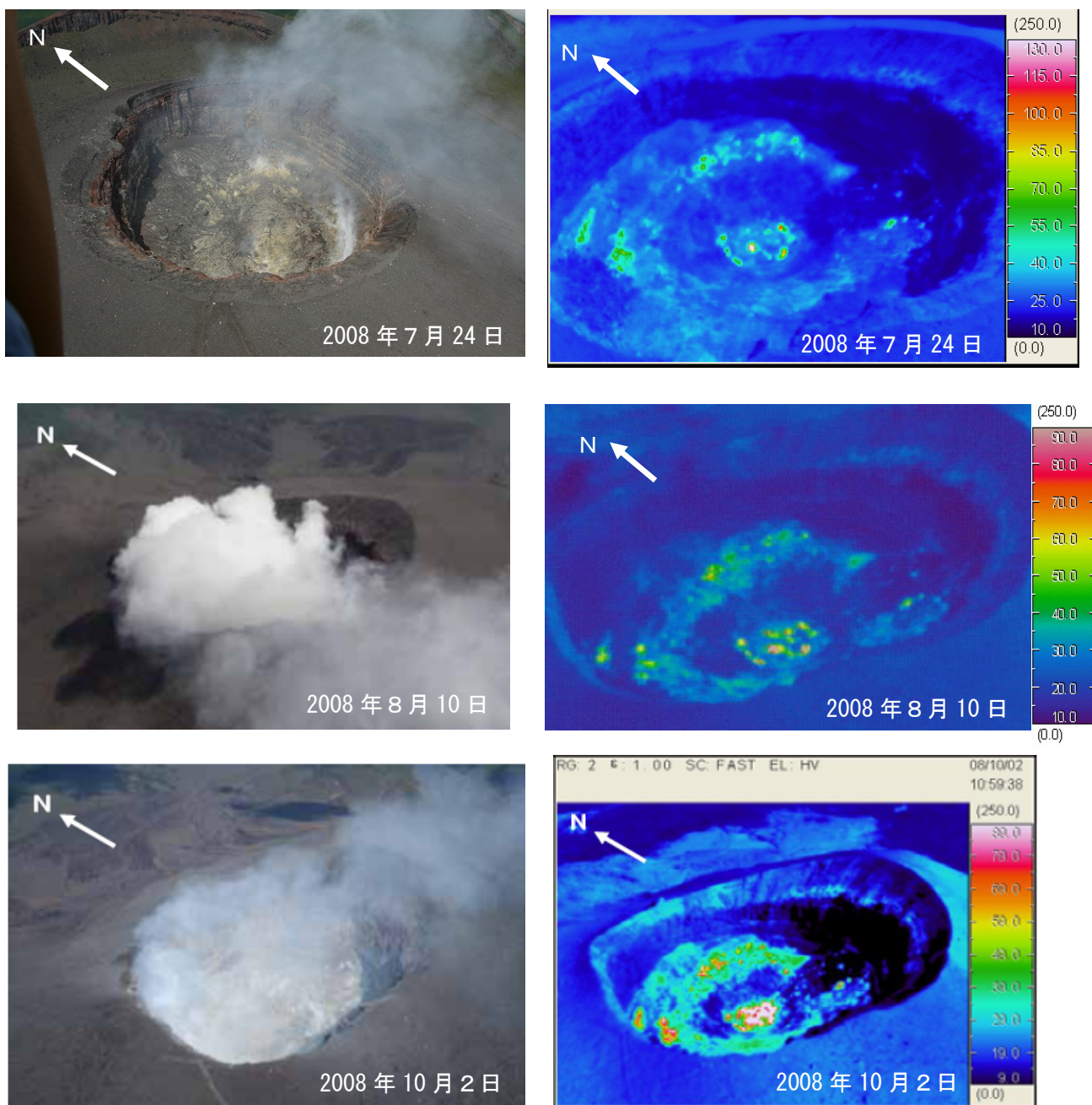
8月14日07時59分頃のごく小規模な噴火
噴煙高度：火口縁上400m



第4図 浅間山 ごく小規模な噴火の状況

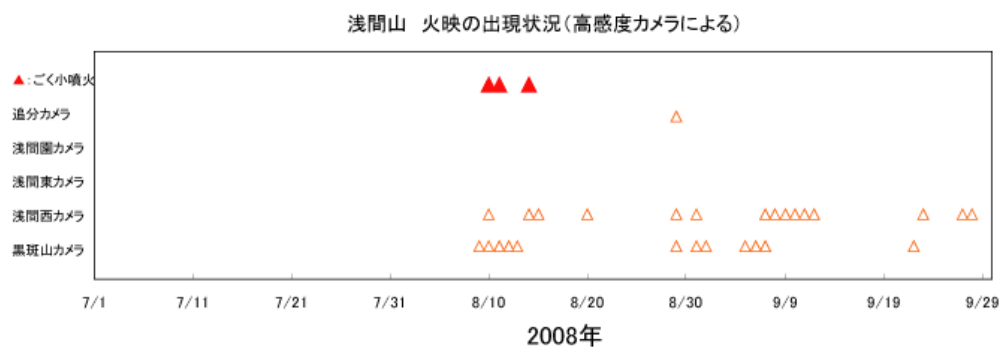
左：地震計G点(上下成分) 右：黒斑山高感度カメラ(長野県) ↑ 遠望カメラで噴火を確認した時刻

Fig.4 Observed Eruptions in Asamayama.
Left: Seismograms associated with eruption.
Right: Visible images of eruption.



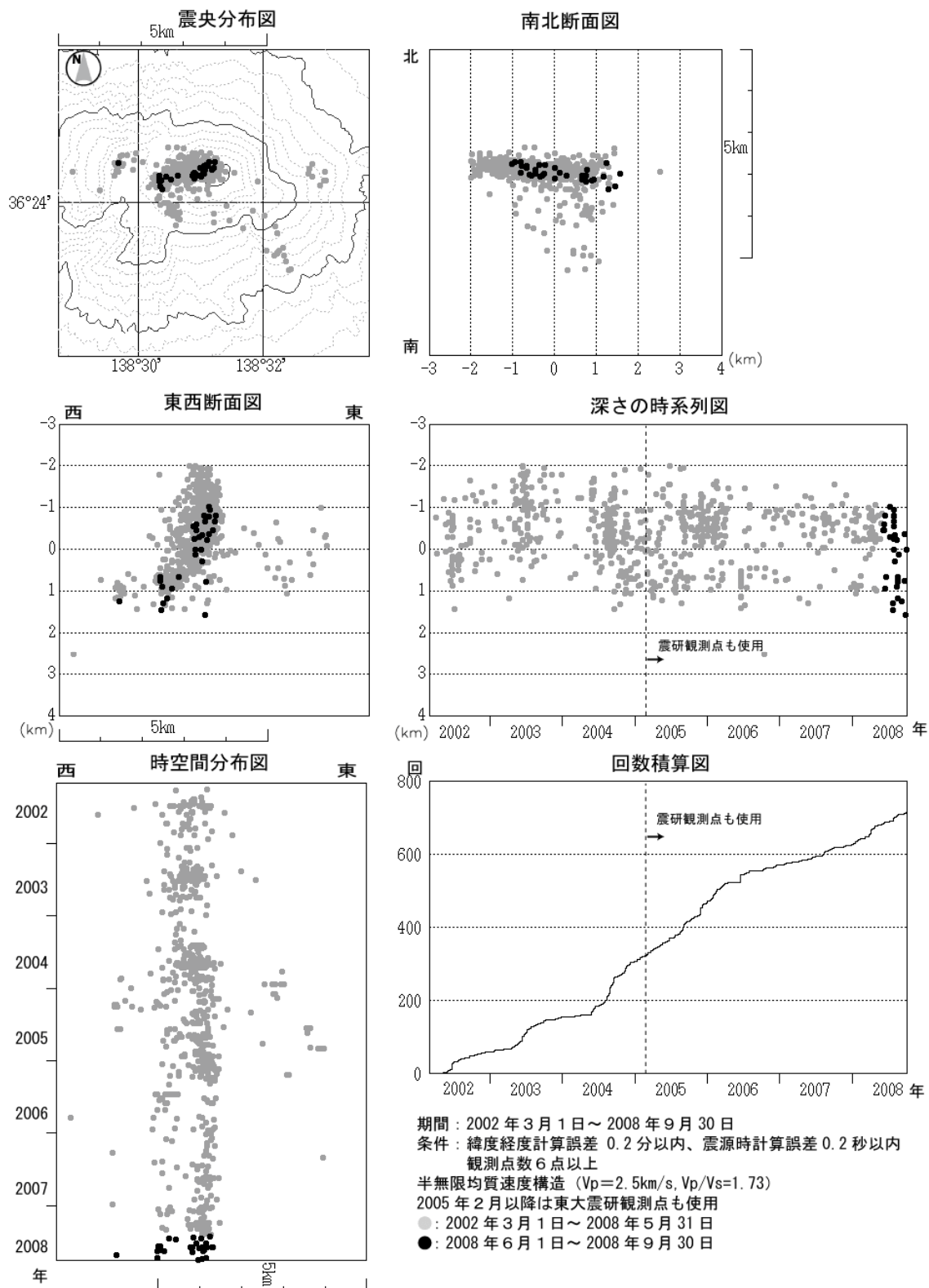
第5図 浅間山 赤外熱映像装置による山頂火口内の温度分布（上空から撮影）

Fig.5 Visible and thermal images of summit crater of Asamayama.



第6図 浅間山 火映の出現状況（高感度カメラによる、2008年7月1日～9月30日）

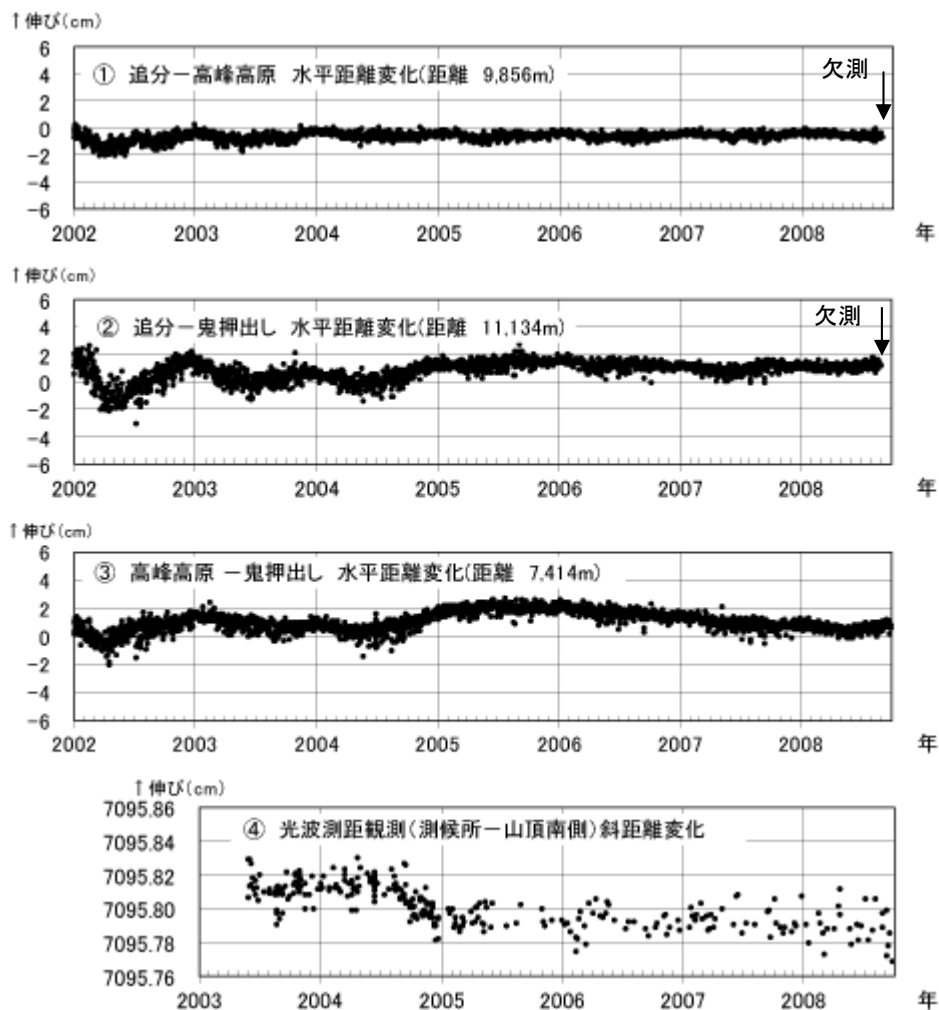
Fig.6 Reflected glow observed by high sensitive camera in Asamayama from July 2008 to



第7図※ 浅間山 火山性地震の震源分布

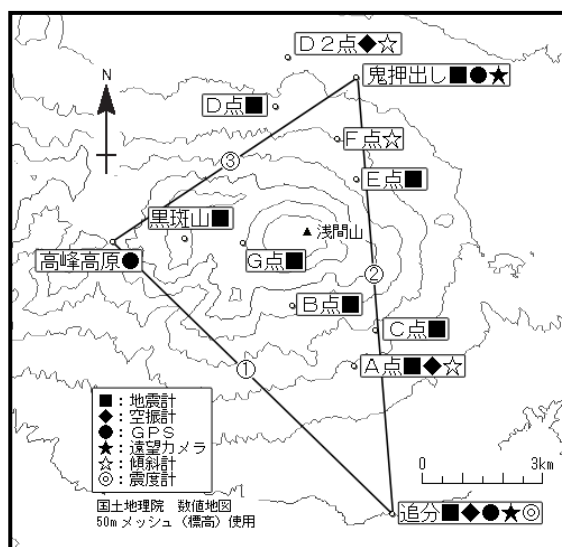
この図の作成にあたっては、国土地理院発行の数値地図 50mメッシュ (標高) を使用した。

Fig.7 Hypocenter distribution of Asamayama from March 2002 to September 2008.



第8図 浅間山 GPS連続観測及び光波測距観測の結果(2002年1月1日~2008年9月30日)
GPS基線(①~③)は第9図の①~③に対応
観測は浅間山火山防災連絡事務所, 補正処理は気象研究所(2008)による

Fig.8 Results of GPS and EDM observations in Asamayama from January 2002 to September 2008.



第9図 浅間山 気象庁の観測配置図

この図の作成にあたっては、国土地理院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用した。

Fig.9 Location map of permanent observation sites in Asamayama.